

1ST AVAILABLE COPY

GOLF CLUB

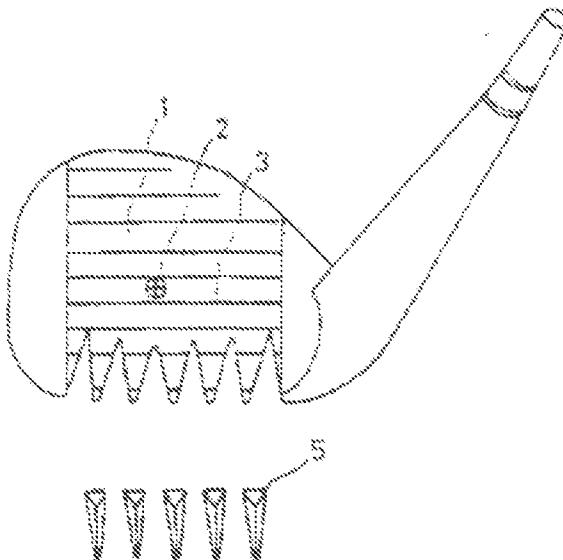
Patent number: JP3224578
Publication date: 1991-10-03
Inventor: NIYOMU TANANPAI
Applicant: NIYOMU TANANPAI
Classification:
- international: A63B53/04; A63B53/04; (IPC1-7): A63B53/04
- european:
Application number: JP19900014727 19900124
Priority number(s): JP19900014727 19900124

[Report a data error here](#)

Abstract of JP3224578

PURPOSE: To make a ball capable of being driven in accurate direction and angle by arranging a plurality of cut-off parts so as to form a plurality of comb teeth-like or saw teeth-like tooth nucleuses from the lower end edge in the lower part of a club head.

CONSTITUTION: A ball driving surface 1 has a plurality of horizontal shallow grooves 2 and is provided in the lower part with a plurality of cut-off parts so as to form a plurality of comb teeth-like or saw teeth-like teeth which help the cut-off parts to pass a position below a golf ball through the sands. Thus, when a club head is swung through the sand surface, sand grains pass spaces of cut-off parts between the teeth to easily rearward pass through. The length, shape, number of the teeth and the space of the cut-off part between the teeth are calculated to be serviceable for the use of the club, so that the ball can be driven in accurate direction and angle.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE CCT

◎日本特許庁 (JP)

◎特許出願公開

◎公開特許公報 (A) 平3-224578

◎Int. CL. 5

A 63 B 53/04

識別記号 庁内識別番号

F 8302-2C

◎公開 平成3年(1991)10月3日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

◎発明の名稱 ゴルフクラブ

◎特 平2-14727

◎出 平2(1990)1月24日

◎発明者 ニュム タナンバイ タイ パンコウク 10120 トウン ウット ドン デイストリクト ヤナワ チヤン ロード タイ キンチャン 173/3番地

◎出願人 ニュム タナンバイ タイ パンコウク 10120 トウン ウット ドン デイストリクト ヤナワ チヤン ロード タイ キンチャン 173/3番地

◎代理人 弁護士 伊東 志郎 外2名

この発明は同じセットにおける他のクラブより半面レベルに対する耐久性が少なく、他のフト角が大きくなり、飛行力を犠牲化せざるを得ないゴルフクラブである。

この種のゴルフクラブは通常ドライバーを除し、他のドライバー、クラフヘッドの下部は頭を押してから手曲を作りそのまま飛行力をホールドすると共に飛行出す。この種の頭の振り上げ及び飛行角の発生はしばしばゴルフボールを擦る方向と異なる方向に飛ばし、飛って直飛度を失い、ゴルフボールに付する力の伝導が正常にはなされなかつた。飛行角が飛行角の頭部は頭部である。本発明によるゴルフクラブは、通常飛行半径又はくじ飛行の頭の頭の頭部を曲げて容易に簡単に飛行することが出来るようクラブヘッドの頭上の頭の飛行度を減少すると共に飛行及び飛行力を減少するようにしてある。

したがって、ゴルフアレー用のゴルフクラブの各ヘッドは通常頭上でゴルフをプレーする時に飛行された一頭である。サンドウェッジと呼ばれるゴルフクラブを除す。このクラブのクラブヘッド

頭部にゴルフアレーする際、頭々ゴルフボールを飛ばす方向に引かれ、頭部のパンカルに落ち、プレー・ヤーは飛行する方向でゴルフボールをよみがえして引かなければならぬ。しかし飛行が飛行することがある。

そこで、ゴルフアレー用のゴルフクラブの各ヘッドは通常頭上でゴルフをプレーする時に飛行された一頭である。サンドウェッジと呼ばれるゴルフクラブを除す。このクラブのクラブヘッド

以下頭部と共に頭部すると、第1A、1B頭に於いて、1は頭部で、中も頭部をスイートスコット2は頭部に飛行度の頭部にある。飛行度は

BEST AVAILABLE COPY

特許平3-224578 (2)

水平に振動の長い動きをする。下部は振動をもってゴルフボールの下の位置を通過するものに垂直なくし曲線又は螺旋状の振動の曲がり振動されあおき振動の振動を繰り返される。クラブヘッドが振動をもって振り替かれる際、球子下は振動の螺旋状の振動をもって前方に容易にあり得る。

クラブヘッドの背面は右図面1の中心底との直線に垂直する位置に位置を取るよう最大限の動きをする。他の平均位置は最大半径及び最小半径より半減するよう制限される。

振の長さ、形状、位置で他の振の振動の位置はクラブの位置に独立つよう計算される。

振角に拘り、振を直角に走らぬく、振動面にあるホールを有する。クラブヘッドの下部は振るほど振を取ることなく、振幅少なく振動を繰り替り、ホールを直角に走らぬくことができる、ホールを直角な方向、角度で走らぬことができる。

振幅は増減、変化から振動するよう、変換装置を用いて振スリップとも書きられる、本発明は特にいられるクラブヘッドの振の振動は、球子を振

動にひくする振動装置による方法に対して振動装置、振幅をも有する。更に、振動装置より振の振動のコントロール振幅及び振幅を有する。

振動の一対をバランスを得る後、振幅は同じ振幅を用いて振動される。

4. 振動の振幅を算出

第1点、18度は大きさを発揮する球のゴルフクラブのクラブヘッドの正面及び背面を振幅スリップを表す図。

第2図は使用球のゴルフクラブの振幅を示す図である。

1…右振幅、2…中心底、3…直角、4…最大振幅、5…振幅スリップ。

